

# 狭山ケーブルテレビ 株式会社

(埼玉県狭山市) 常用労働者数：39名

放送・通信業



営業所前にて

## トップを巻き込んで、管理職候補の育成をはかる

人事評価制度を見直してステップアップできる環境を整えた結果、女性の主任が管理職を目指すことになった。



略称：S-CAT(エスカット)

設立年：

1992年7月23日

常用労働者数：

女性17名、男性22名

平均年齢：

女性40.2歳、男性48.0歳

平均勤続年数(正社員)：

女性7.2年、男性6.3年

役職者における女性割合：

管理職(課長)16.7%(1名)

係長(主任)28.6%(2名)

平均残業時間：

8.3時間/月

有給休暇取得率：

34.0%(2017年度)

育児休業取得率：

女性100%(1名)、男性0%

(2018年3月時点)

企業認定等：

埼玉県多様な働き方実践企業

事業内容：

有線テレビジョン放送事業

電気通信事業

URL：

<https://www.s-cat.ne.jp/>

## 女性活躍推進に取り組むきっかけ

### 初めて、育休を取って復職したいという女性社員が現れた！



看板番組「さやまのお店めぐり」

地域に密着した番組をお届けして地元で親しまれているケーブルテレビ会社である。少規模ながら、番組を手掛ける制作部門、放送を支える技術部門や営業部門と業務は多岐にわたる。業種柄、事務部門以外は勤務時間も不規則で、これからますます人手不足になると会社自体が立ちゆかなくなってしまうと危惧していた。

産休・育休を取って復職したいという女性社員が初めて現れ、実際に育休制度を運用することになったことをきっかけに、職場環境を整えて女性活躍を進めたいとの考えを強くした。

## 課題の分析

### 意識改革が必要だと気付かせられた

加盟しているJCTA(日本ケーブルテレビ連盟)の勉強会に参加して、女性課長の話を聞き、職人気質が残る業界にあっても女性が活躍している会社があることが分かって励みになった。

アドバイザーから、女性が活躍できる環境を整えるためには、業界の体質である性別役割分担意識を改革していくことが必要との助言を得た。それまでは、業務に必要な専門的なスキル評価が中心の部署ごとの人事制度しかなかったため、全社統一の人事評価制度を検討することにした。また、女性社員を管理職に登用するためのサポート体制も整っていなかったため、検討することとなる新たな人事評価制度については、管理職育成に結び付くような内容を盛り込むことにした。

「えるぼし」認定  
取得できました！

「0を1にする」にはあきらめないパワーが必要だった

少人数の会社であり、日々の業務に追われて「働き方改革」「女性活躍」といったことが話題にのぼることもなかった。女性活躍に対する理解を深めてほしいとイントラで情報発信を続けていたが、国の認定である「えるぼし」認定取得が取組を加速させると考えて目指すことにした。

「えるぼし」を取得できたことで、自分には関係ないと思っていた社員の関心も高まり、育休から復職する女性社員がスムーズに職場復帰できる環境を整備することにもつながった。



えるぼし 3段階目  
(2019年1月取得)